

2024.2.15  
No.185

# たなぐら 議会だより



2  
ページ

定例会 12月会議



もくじ

5  
ページ  
町政を問う  
一般質問

10  
ページ  
11月第1回会議  
議員活動報告

表紙写真

「出初式でのパレード」

# ふるさと納税推進事業費などの

# 補正予算を可決

定例会  
12月会議

## 12月補正後の予算額

(△は減額表示／1万円未満切捨て)

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		4億6,256万円	78億3,160万円
特別会計	国民健康保険	1,289万円	12億6,724万円
	介護保険	420万円	15億8,120万円
	簡易水道事業	58万円	5,094万円
	公共下水道事業	140万円	3億2,636万円
	農業集落排水事業	277万円	8,685万円
事業会計	収益的収支	収入	△1,037万円
		支出	213万円
	資本的収支	収入	△124万円
		支出	△90万円

◆**上水道事業会計**  
収益的収入については、有収水量の減少見込みに伴う給水収益の減額補正、収益的支出については、人件費、修繕費等の支出見込みによる増額補正、資本的収入については、事業確定見込みに伴う布設替工事負担金の減額補正、資本的支出については、量水器購入費の減額補正。



定例会12月会議は、12月20日から22日までの3日間の会議日程で開催されました。  
会議では、補正予算や条例の制定及び一部改正の議案など19件を慎重に審議し、全て全会一致で可決されました。

## 条例の制定及び一部改正

- ◆**議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例**  
福島県人事委員会の勧告に準じて期末手当の支給率を0.1引き上げるための改正。
- ◆**棚倉町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例**  
福島県人事委員会の勧告に基づき、給料月額引き上げ並びに期末手当及び勤勉手当の支給率をそれぞれ0.05引き上げるための改正。
- ◆**棚倉町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例**  
特定任期付職員の給料表及び期末手当の支給率について、福島県人事委員会の勧告に基づき改正。
- ◆**棚倉町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例**  
本年の福島県人事委員会の勧告に基づき、報酬月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給率について所要の改正。

## 12月補正予算

一般会計予算  
4億6,256万円増額

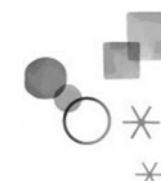
### 「一般会計の主な事業」

- ◎ふるさと納税推進事業費 1億2,177万円  
ふるさと納税に係る返礼品等の増額。
- ◎道路維持補修費 900万円  
町道の道路維持補修費の増額。
- ◎公債費 2億5,444万円  
長期借入金繰り上げ償還を実施するための増額。



### 特別会計予算

- ◆国民健康保険特別会計 1,289万円  
高額療養費及び出産育児一時金の増に伴う保険給付費等の増額補正。
- ◆介護保険特別会計 420万円  
人事異動に伴う職員の人件費等の増額補正。
- ◆簡易水道事業特別会計 58万円  
人件費及び施設管理費の修繕費の増額補正。
- ◆公共下水道事業特別会計 140万円
- ◆農業集落排水事業特別会計 277万円  
いずれも、人件費及び施設管理費の光熱費等の増額補正。



# 町政を問う

定例会12月会議では4人の議員が登壇し質問を行いました。  
1人の制限時間は60分、一問一答方式で行われます。  
行政全般について町民の身近な課題や町政発展に係る質問を活発に議論しています。



## 1 藤田 智之 議員 …… 6ページ

1. 給食費の無償化は
2. 棚倉城跡観光拠点施設の整備は
3. インフルエンザ予防接種の補助は

## 2 大竹 盛栄 議員 …… 7ページ

1. 高野小学校への就学希望者数は
2. スクールバス事業の運用基準の見直しは
3. 自主防災組織の装備品への支援は
4. 小・中学校体育館の年末年始貸し出しの変更は

## 3 藤田 光子 議員 …… 8ページ

1. 旧棚倉高校跡地の進捗は
2. 小京都棚倉の周知は
3. 給食の献立内容に対する反応や要望は

## 4 菊池 忠二 議員 …… 9ページ

1. 高齢者の人口割合は
2. 特産品ブランド認証の手順は

### 契約及び変更契約締結

◆小型動力ポンプ付き積載車購入契約締結  
第2分団第3班及び第4分団第4班に配備している車両をそれぞれ更新するため2台購入する。

●契約金額 17,600,000円  
●契約の相手方 福島県白河市大島居橋前83番地14 株式会社磐水社 白河営業所  
所長 辺見 善衛



小型動力ポンプ付積載車

### ◆棚倉町文化センター長寿命化改修工事請負変更契約締結

改修工法及び内外部の工事数量の変更等に伴い、工事請負契約を変更する。

●契約金額 657,800,000円  
●変更前 700,799,000円  
●変更後 700,799,000円  
●契約の相手方 福島県白河市新白河一丁目73番地 三金興業株式会社  
代表取締役 金子 芳尚

### 陳情

◎健康保険証廃止の中止を求める陳情書

■提出者 福島県社会保障推進協議会  
会長 佐藤 和久

◎すべての医療・介護従事者の処遇改善と人員増を求める陳情

■提出者 福島県医療労働組合連合会  
執行委員長 高橋 勝行

◎年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

■提出者 小坪 慎也

### 定期監査講評

11月22日、役場議員控室において監査委員、町長・副町長・教育長・各課室局長が出席し、定期監査の講評が行われました。

石井重實代表監査委員から、令和5年度の上半年分を対象に、財務に関する事務が適正かつ効率的に処理されているかを主眼とし監査を行いました。予算の執行、財産の管理等について、適正に処理・執行されており、工事などの進捗状況についても定期的に確認されておりました。今後、事務の適正化、効率化に努めながら費用対効果を十分考慮して、町民のニーズに添えられるよう適正な事務執行を願うと報告がありました。



監査講評の様子

問 給食費の無償化は  
答 無償化にする考えはない

問 食材の価格高騰で課題も多いと思うが、学校給食の現状と取組は。給食費の無償化は。

教育長 対前年比で、電気料は約3割、委託料と賄材料は全体的に1割程度上昇している。賄材料費の上昇分は町が補填し、質の低下を招かぬよう対応している。町独自で給食費の無償化の考えはない。

問 周りの町村でも給食費の無償化が進んでいるので見劣りするのでは。

町長 給食費無償化の目的は子育て支援の一つと思う。本町では高校生に年6万円の支援を優先して取り組んだ。無償化についても今後、検討をする必要は出てくると思われる。



問 棚倉城跡観光拠点施設の整備は  
答 当面は茶室脇の蔵を利用

問 歴史的風致維持向上計画の内容は。

町長 棚倉城跡観光拠点施設の整備は、棚倉城と城下町地区の歴史や城下町周遊の情報を発信できる施設を検討中。

馬場門前環境整備は、道路の美化、駐車場、トイレ等の整備を計画。赤館整備計画は、既存トイレの撤去、休憩棟の改修を検討。棚倉城跡周辺道路整備で、町道美化工事及び街路灯工事を実施していく。

観光振興の取り組み、ソフト事業、アプリの活用等も検討している。

問 棚倉城跡観光拠点施設の具体的な内容は。  
地域創生課長 駐車場や周遊性



観光拠点施設となる蔵

などを考慮して検討を行ったが、埋蔵文化財包蔵地で新規の建築が難しい。N・T東日本の施設も取得はできず、当面は茶室脇の蔵を利用して、季節的に臨時観光案内所で進めながら、新しい拠点施設も検討したい。

問 長期に取り組むことはできるのか。

地域創生課長 1期計画の後に2期計画で取り組むことは可能だが、ハードルは高くなる。

問 インフルエンザ予防接種の補助は  
答 児童と高齢者に2千円を補助

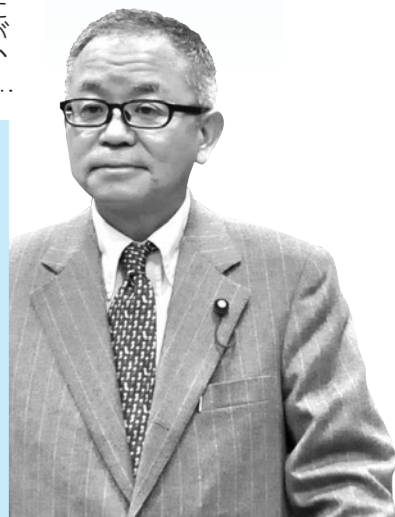
問 定期や任意での予防接種があるが、現状は。

町長 新型コロナウイルスワクチン接種は令和6年度から定期接種として、65歳以上を対象に実施予定。

インフルエンザ予防接種は1回の接種で65歳以上の方及び1歳から18歳までの子どもを対象に2千円を補助。接種率は65歳以上が約55%、子どもが約33%。

带状疱疹ワクチンへの補助は現時点では考えていないが、国の動向を注視したい。子宮頸がんワクチンは積極的な接種勧奨が再開され、対象者862名のうち165名が接種した。

アプリについては、予防接種スケジュール管理機能のある子育て応援アプリを導入している。



藤田 智之

問 高野小学校への就学希望者数は  
答 5年生5名、6年生7名の希望者

問 高野小学校の就学希望者数は。

教育長 12月現在で12名。

問 町外からの希望者は。

子ども教育課長 棚倉町に引越してきた方が、1名含まれる。

問 就学希望者が「0」になり休校となった時の年間の維持経費の試算は。

教育長 土地の賃借料や校舎の維持に年間120万円程度かかるものと考えている。

問 旧山岡小学校は年90万円ほどかかっており、規模からして収まらないと思うが、どのような査定か。

子ども教育課長 大きなものは電気代50万円、土地代が30万円、消防設備代に20万円ほどである。

問 休校が何年続いても残すのか。判断の基準はあるのか。



小規模校として残る高野小学校

子ども教育課長 休校が続くようであれば、当然、協議、検討が必要と考えている。

問 町の小・中学校のいじめ事案の件数と対応は。

教育長 小・中学校合わせて解決も含め67件の報告があり、重大事態にならないよう相談体制をとっている。

問 町の不登校の児童生徒数は。  
教育長 小学校4名、中学校25名が年間30日以上欠席している。

問 町では、学びの多様性を支援するための授業の配信はしているのか。

子ども教育課長 タブレットを活用した授業を行っている。

問 建替え更新時期が迫っている町立学校の校舎の対応は。

教育長 耐震基準は満たしているが、順次修繕工事等で対応する。

問 小学校統合検討委員会というような組織の立ち上げと、旧棚倉高校跡地を義務教育学校として活用しては。

教育長 学びのあり方検討委員会の意見書を踏まえ、慎重に検討していく。

問 スクールバス事業の運用基準の見直しは  
答 児童・生徒数の推移を見ながら必要に応じ検討

問 児童・生徒数の推移を見ながら必要に応じ検討



体育館での剣道の稽古の様子

問 自主防災組織の装備品への支援は  
答 備蓄食料品などは支援の検討をしていく

問 小・中学校体育館の年末年始貸し出しの変更は  
答 変更の予定はないが、話し合うことで解決できると思われる



大竹 盛栄

### 問 旧棚倉高校跡地の進捗は

### 答 県の支援内容を精査しながら検討

**問** ここに至るまでの間、どのような内容の話し合いがされたのか。

**町長** 6月に県教育長、県議会議長への要望活動。8月に施設財産室職員、県南地方振興局職員が来庁し情報共有を図った。9月県議会において校舎や跡地利用する際の財政支援策を構築するとの答弁があり、今後具体的な支援策について検討することである。

**問** 土地取得の考え、財政支援に該当する跡地利用の調査研究などは。

**町長** 現在のところ、県教育庁において自治体が利用する際の支援策を検討しているということであり、支援内容を確認、精査しながら町としても検討する。

**問** 検討委員会の立ち上げがいまだされていないが。

**町長** 庁内係長会議を開催し経過や課題等について情報を共有し

ている。何らかの形で検討する形態を考えていくべきと思っている。

### 問 小京都棚倉の周知は

### 答 広報たなぐらにて特集記事を掲載

**問** 町民の多くが小京都棚倉を理解していないのが現状と思われるが、何をもとにしているのか。

**町長** 京都会議加盟の条件のうち、京都の大徳寺や聖護院と八槻都々別神社との関わりがあるということ町として加盟している。

**問** 棚倉駅舎内に観光案内所や物産店、喫茶店などの設置について整備する考えはあるのか。

**町長** 現在のところ設置の予定はない。

**問** 小京都棚倉を活用した町づくりは。

**町長** 全国京都会議加盟市町との連携を図りながら、棚倉町歴史の風致維持向上計画と東北の小京都棚倉を合わせて歴史観光資源として活用していきたい。



小京都棚倉PRのタペストリー

### 問 給食の献立内容に対する反応や要望は

### 答 栄養士が学校訪問をし、把握している

**問** 定期的な試食や他町村との交流や研修会などしているのか。

**教育長** 学校給食センター運営委員会開催時に試食を行っている。



藤田 光子

県の研修会等で、他町村とは情報交換をしている。

**問** 保護者からの要望、改善は。子ども教育課長 直接はないが、各学校から指摘があれば改善に努めている。

**問** 食育の重要性が叫ばれている中で、楽しみ、満足感のある給食を提供してほしいと願うが。子ども教育課長 給食の好き嫌いはつきりしている。栄養とバランスが取れるよう工夫しているが、要望があれば改善に向けて努力していく。



### 問 高齢者の人口割合は

### 答 人口の33.4%

**問** 町の65歳以上の高齢者人口と割合は。

**町長** 高齢者人口は4,353人で高齢化率は33.4%。

**問** 高齢者や観光客に優しく、少し疲れた時に休めるベンチは、城跡周辺にはいくつ設置されているのか。

**整備課長** 亀ヶ城公園内に40脚、多目的広場に10脚、ポケットパークに7脚、大けやき前に3脚、城跡周辺には合計60脚設置している。

**問** 高齢者や観光客のためにポケットパーク等を町なかに設置する考えは。

**整備課長** 現在、城跡の北側にはポケットパークがあり、また、棚倉小学校の前には時の鐘のトイレがあるため、今のところ計画はない。

**問** 歴史的風致維持向上計画で町なかを大幅に整備するという事だが、高齢者や観光客が古町まで行動範囲が広がるように、古町にポケットパークを計画しては。

**地域創生課長** 歴まち計画の中で馬場都々古別神社にはトイレを計画しているが、散歩のためのトイレは考えていない。

**問** トイレやポケットパーク、ミニ公園などは費用対効果の高い投資だと思うが。

**地域創生課長** 今後土地建物の物件が多く動くようになれば、その時に改めて検討してみたい。

**問** 企業を集めるなら企業のために投資を、人を集めるなら人のために効果的な投資をするべきでは。

**町長** 投資に関しても官がやるだけでなく民と官が一緒になり、さらに地域も入っているいろいろな考えがいくことが必要だと思われる。



トイレ付ポケットパークの参考写真

### 問 特産品ブランド認証は

### 答 棚倉ブランド認証推進基本方針に基づく

**問** 町のブランド認証の手順は。

**町長** 棚倉ブランド認証推進基本方針に基づいて、棚倉町農作物・物産品ブランド化推進協議会が認証している。



池 忠二

**問** 棚倉町農作物・物産品ブランド化推進協議会のメンバー構成は。

**産業振興課長** JA、棚倉町物産振興会、産業振興課長などで構成。

**問** ブランド認証された製品のPRと特典は。

**町長** 棚倉ブランド認証マークシールの無償交付と3万円の支援金の交付、さらにPRとして首都圏での物産販売イベントや、ふるさと納税返礼品への活用及び広報たなぐらや町のホームページなどにより行っている。

**問** ブランド認証が始まってからの年数と成果は。

**産業振興課長** 10年を経過し、これまでも見直ししてきたが、町産品のPRとして大変有効な手段だと認識している。

# 11月第1回会議

11月第1回会議は、11月20日に開かれました。会議では、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の追加交付を受けて、物価高に伴う影響を被る低所得世帯の支援策として、住民税非課税世帯への7万円の追加交付及びエネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対する支援策として、町民一人につき5千円のクーポン券を年内に追加交付するため、補正予算の議案が提出されました。

なお、今回のクーポン券の追加交付にあたっては、お腹の赤ちゃんも交付の対象にと考え、妊婦の方にはさらに5千円を上乗せして交付するためのもので、慎重に審議し、原案のとおり全会一致で可決しました。

## 一般会計補正予算

◎住民税非課税世帯等臨時特別給付事業費の増額補正 8,621万円

◎新型コロナウイルス感染症対応緊急経済対策支援事業費の増額補正 6,864万円



11月第1回会議の様子

# 退任議員紹介

令和5年12月31日をもって退任された議員の方々は、町民の声を町政に届けるため町民の代表者として選出され、長きにわたり本町の発展、行政振興にご活躍されました。大変お疲れ様でした。



(左側から) 和知良則議員、藤田光子議員、近藤正光議員、蛭田卓雄議員

## 活動していた様子



近藤 議員



和知 議員



藤田 議員



蛭田 議員

# 議員活動報告

## 町村議会議員研修会

令和5年10月23日、福島県町村議会議長会主催で、ビッグパレットふくしまを会場に開催されました。研修会は、東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井利之氏による「自治体議員は自治体議会をどのように取り扱って行くべきか」並びに、ジャーナリスト、学習院シニアフェロー 岩田公雄氏による「これからの政局・政治の行方」と題して講演がありました。



# 言わせて一言

人を・心を・時をつなぐたなぐらまちに

住む皆様にご意見、ご感想を伺いました。

南町にお住まいの  
藁谷 鋭さん



私は、ふるさとガイドの会で町の観光案内をしており、現在14名で活動しています。棚倉町は、名所旧跡が多く、魅力ある町です。城跡は、立派な土塁やお堀、四季折々の花、特に紅葉が美しいです。山本不動尊は有名で、一年中、観光客が訪れています。2カ所の都々古別神社は、全国でも数少ない一宮で由緒ある神社です。以前、九州から棚倉さんという方がお見えになり、先祖が初代棚倉藩主の立花宗茂と縁があり、「棚倉」という名字を頂いたので、棚倉を訪ねてきたとのことでした。観光客の中には、元棚倉藩士の子孫の方や棚倉ゆかりの方、リピーターの方も大勢おりますが、皆様から「食事をする場所が少ない。お土産を買う場所がわからない。」という声を聞きます。大勢の観光客の方が棚倉町を訪れております。議会をはじめ、全町民でお客をおもてなし、是非また、棚倉町に来てみたい、友人を誘って来てみたいと思われる町になれば良いと思います。

花園にお住まいの  
菊池 望さん



私は、議会の一般質問を傍聴したことがあります。しかし、子どもを出産してから、子どもが一緒では騒がしくなってしまうと思い一度も行けていません。それからは、議会だよりで一般質問の内容に目を通すようになりました。子どもがいると一般質問の内容に育児や養育環境の事などが掲載されていると、議員の方も「ちゃんと考えてくれる」と嬉しくなります。私は散歩が好きなので、子どもを連れてよく公園に行きますが、子どもが大きくなってくると大きい公園や室内遊び場がないと満足しなくなってきました。そのため、休日には白河市や矢吹町、中島村などへ出かける事が多くなりました。町長をはじめ議員の皆様のお力で、棚倉町に大きい公園や室内遊び場を作っていただければ嬉しく思います。ぜひぜひお願いいたします。

## あなたも議会を傍聴しませんか

傍聴の手続きは、役場庁舎3階の傍聴席入口で住所と名前を書きだけで、どなたでも傍聴できます。

### 定例会3月会議日程のお知らせ(予定)

- 3月5日(火) 本会議
- 6日(水) 本会議
- 7日(木) 一般質問
- 8日(金) 一般質問
- 9日(土) 休会
- 10日(日) 休会
- 11日(月) 予算特別委員会
- 12日(火) 予算特別委員会  
本会議

正式日程は、2月下旬開催予定の議会運営委員会で協議されます。

## 編集後記

新年早々から能登半島地震、羽田空港の航空機事故と大変な事態が起こりました。被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げます。こういった事がこれ以上起こらず、今年が皆様にとって良い1年になることを願っています。

1月より新しい議会構成となりましたので、今後とも町民の皆様のために、行政と協力し様々な施策に取り組んでまいります。これからも棚倉町議会だよりをご愛読いただき、議会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

広報編集委員会  
委員長 佐川 裕一

### 広報編集常任委員会

- 委員長 佐川 裕一
- 副委員長 和知 裕喜
- 委員 沼野 将美
- 委員 高橋 みゆき
- 委員 割栢 義夫